

令和3年度 江戸川区立南葛西第二中学校 学校関係者評価 最終評価用報告書

学校教育目標	国際社会に貢献できる人間の育成を目指して ・人権を重んじ自他を敬愛する。(礼儀) ・自主自律の習慣を身に付け将来を目指して自己実現を図る。(自律) ・心身を鍛え、個性の発揚を図る。(自律) ・所属社会の向上と環境改善を目指して着実に努力する。(開拓)	目指す学校像 目指す生徒像 目指す教師像	・「生徒が安心して登校できる学校」「保護者・地域から信頼される学校」「教職員が働き甲斐を感じられる学校」 ・「自分を大切に 人を大切に」する生徒 ・「学び続ける教師(人)」をモットーに、自らを成長させ続ける教師
前年度までの学校経営上の成果と課題	<成果> ・いじめや問題行動の発生を抑制し、落ち着いた学習環境を整備できた。適切な時期及び内容の情報提供を行うことで、教育活動に対する保護者の十分な理解を得た。 <課題> ・不登校解消や不登校の未然防止を徹底し、安心して登校できる学校を構築する。主体的に学習する生徒の育成するとともに、適切な広報により保護者の信頼を得る。		

教育委員会重点課題	取組項目	評価の視点	具体的な取組	数値目標	自己評価		学校関係者評価		年度末に向けた改善策	
					取組	成果	成果と課題	評価		コメント
いきいきと学ぶ学校づくり	確かな学力の向上	・「確かな学力向上推進プラン」の実施・改善や補習の実施などによる指導の充実と授業力の向上 ・「各教科等の連携教育プログラム」による連携の充実	・推進プランの見直し…年2回 ・放課後補習教室…年150回 ・教科間交流…年2回	・全国学力学習状況調査…都平均 ・到達度テスト…3科平均標準偏差50	B	C	○授業改善への取組は充実し、主体的な学びが実践された。 ●感染症対策をしつつ、小中間の教科連携を推進すること	C	学習指導がより充実することを望む。 生徒の希望進路を実現できるような学力の向上を図ってほしい。	・確かな学力の定着のため、①授業改善②学習機会の提供③学習コンテストを実施する。
	読書科の更なる充実	・読書を通じた探究的な学習の充実(読書科ノートの活用、資料の収集の仕方や記録の取り方の指導、自己の考えをまとめ表現する方法の指導、朝読書と1単位時間の授業との関連付け、他教科との関連等) ・学校図書館の整備、学校図書館を使った授業の充実	・(朝読書)課題読書…10回 ・ピリオオバトル…全学年1回 ・読書科の成果物…全学年年2点) ・蔵書電子化の推進	・(校内アンケート)読書科に関する生徒の満足度…肯定的評価80%以上 ・生徒貸し出し冊数…前年比+20%	B	B	○落ち着いた朝読書が確立され、課題読書で視野を広げることができた。 ●貸し出し冊数の一層の向上と読書を活用した課題解決力を身に付けること	B	読書を単に趣味に終わらせず、生きる力や学力定着のためにも充実を図ってほしい。	・朝読書や読書科において①読書の目的や意義をガイダンスし、読書を教科の学習や日常生活と結び付ける意識を醸成する。
	体力の向上	・体育の授業での補強運動や休み時間における主体的な運動の実施による運動意欲の向上	・保健体育…毎時補強運動 ・体力向上週間…年5回	・(校内アンケート)運動習慣の向上…肯定的評価80%以上	B	B	○運動の必要性を実感させられた。 ●運動機会の充実と習慣化。	B	運動会では生徒はいきいきと活動していた。	・運動会における集団演技を実施する。
	オリパラ教育の推進	・「オリンピック・パラリンピックレガシー創造プラン」に基づく取組、「学校2020レガシー」の設定やオリパラコーナーの充実	・パラアスリートによる講演会 ・パラリンピック見学	・(校内アンケート)オリパラへの関心度…肯定的評価80%以上	B	B	○講演会や見学会により、生徒の意識を向上できた。 ●レガシーの定着	B	オリパラの見学ができなかったことは残念だった。	・ボランティアマインドの醸成のための生徒会活動を活性化させる。
	外国語教育の推進	・授業力の向上とALTの効果的な活用	・ALT授業の上限実施 ・英語検定受験指導…年3回	・英語検定受験者数…全校生徒の30%以上	B	B	○教科内での発話機会が増加した。 ●検定受験者数・合格者数の向上。	B	生徒に外国語に関する学力が定着しているかよくわからない。	・何をどのくらいできるようになるかを明示した授業を推進する。
	健全育成に向けた取組の強化	・いじめ・不登校の未然防止に向けた魅力ある学校づくりの取組の充実 ・チャイルドレン・サポートチームや生活指導連絡協議会の活用	・校内生徒連絡会…週1回 ・いじめ防止対策委員会…週1回 ・外部情報の共有…月1回	・いじめ継続件数…0 ・不登校生徒数…前年比-50%	B	C	○いじめは連絡会等を活性化し、早期発見・対応・解消が実現できた。 ●不登校に関して様々な状況に応じた適切な支援の一層の充実を図る。	C	不登校生徒数が減るように丁寧な指導を継続してほしい。	・生徒状況を一層共有し、登校に向けた支援を充実する。
	特別支援教育の充実	・校内委員会の活性化を図ることなどによる指導・支援の充実 ・ユニバーサルデザインの視点を取り入れた個に応じた指導の充実 ・エンカレッジルームの活用促進 ・副籍交流、交流及び共同学習の充実	・校内特別支援教育推進委員会…週1回 ・特別支援教育に関する校内研修会…年1回	・(校内アンケート)授業における満足度…肯定的評価80%以上	A	B	○校内委員会が充実し、生徒理解に基づく適切な支援を行える体制が構築した。 ●特別支援教育に関する理解を一層推進するための広報活動の充実。	C	特別支援教育の現状が良くわからない。	・学校だより等で広報活動を充実する。
教員の資質向上	教員研修の充実	・学習用タブレットを活用した授業実施に向けた研修	・校内研修会…年3回 ・ICT支援員の活用…随時	・(自己評価)授業での使用率…各教科全授業の30%以上	A	B	○校内研修会は回数・内容とも充実し、意欲的な取組により、指導力の向上がなされた。ICT活用場面の増加が見られた。 ●生徒の実態に応じた研究テーマを設定し、生徒の成長につながる指導力の向上を推進すること。	B	生徒一人一人の学力や生きる力が向上するように、指導力の向上を図ってほしい。 ICTの活用とともに、対面での授業における指導力の向上を図ってほしい。	・月1回の研修会を実施する。 ・生徒実態を把握し研修テーマを設定する。 ・共通理解と共通行動を徹底する。
		・校内研究授業…年3回(全学級)	・(校内アンケート)授業への参加意欲…肯定的評価80%以上	A	B					
		・会議、打合せでの共通理解、共通行動の確認…随時	・(校内アンケート、関係者評価)学校生活満足度…肯定的評価80%以上	B	B					
特色ある教育の展開	学校応援団による学習支援	・ゲストティーチャー…2教科 ・外部講師派遣…年2回	・(自己評価)学習支援による充実度…肯定的評価90%以上	A	A	○学校応援団の方に多大なご協力をいただいた。 ●連携を継続し、一層の充実を図る。	A	社会人講話の人選が拡大されたことはよかった。 ●連携を継続し、一層の充実を図る。	・学校応援団との更なる連携により教育活動の充実を図る。	